

坂出緩衝緑地再整備基本計画(案)

1. 再整備の背景・目的

- 坂出緩衝緑地は、番の州地区や周辺の工業団地の開発に伴い、公害防止や市街地の生活環境保全を目的として40年以上前に整備された都市公園であり、適正な維持管理がなされてきた。一方で、現在は木々が茂り、安全面や防犯面に対する不安が市民から寄せられている。
- また、番の州地区などの工業団地からの環境的影響は、整備当時と比べて改善していることから、緩衝緑地としての機能は維持しつつも住宅地に近い中心市街地に位置する豊かな緑をいかした憩いの場の創出が求められている。
- そこで、「坂出駅周辺再整備基本構想」における6つの拠点エリアの1つとして豊かな自然環境と長大な空間をいかしながら、多様な世代が集い、交流する市民活動の拠点として再整備をおこなうこととする。

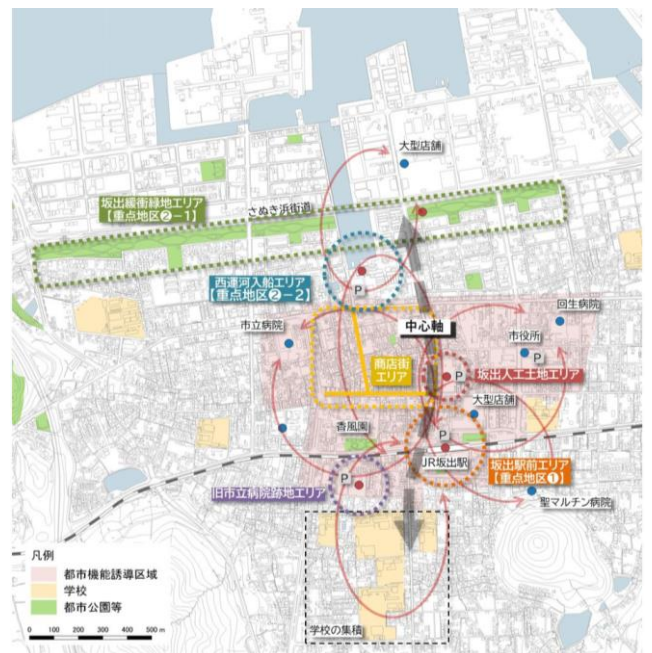
2. 坂出緩衝緑地の位置づけ

- 「坂出駅周辺再整備基本構想」において、交通量の増加が予想されるさぬき浜街道に面し、人の流れを生み出しやすい場所である「坂出緩衝緑地」はまちづくりの重点地区の1つ(=Community Gate)として位置づけている。

Community Gate

豊かな自然環境と長大な空間をいかしながら、多様な世代が集い、交流する市民の活動拠点を創出する場

- 住宅地に近い中心市街地に位置する豊かな緑をいかした憩いの場の創出
- 長大な空間をいかした連続性や多様な魅力を持つ場の創出
- 車によるアクセス利便性の高さをいかした中心市街地への玄関機能
- 交流人口の増加をいかした坂出の魅力発信
- 多様な世代が日常的に集い、交流する市民の活動拠点としての活用による愛着と誇りの醸成



3. 「坂出緩衝緑地の未来を考えるワークショップ」の開催

- 坂出緩衝緑地再整備にあたって、市民のニーズを把握するため、計3回のワークショップを開催し、坂出緩衝緑地の将来ビジョンについて48名の参加者から意見を聴いた。

開催日程	ワークショップのテーマ・内容など
第1回 R5.2.26 (日) 10:00~12:00	<ul style="list-style-type: none">■テーマ『坂出緩衝緑地の将来ビジョンを描いてみよう』■ワークショップ(意見交換)の内容<ul style="list-style-type: none">・緩衝緑地の現況と課題を整理する(魅力や改善点、現状の利用のされ方など)・将来ビジョンを検討する(どんな場所にしたいか、何をして過ごしたいか)
第2回 R5.3.26 (日) 10:00~12:00	<ul style="list-style-type: none">■テーマ『ビジョンの実現に向けたプランニングを企画してみよう』■ワークショップ(意見交換)の内容<ul style="list-style-type: none">・ビジョンの実現に向けて必要なモノ・コト・ヒトなどのアイデアを検討し、図面に落とし込む(必要な施設や人材、イベント・行事)
第3回 R5.4.16 (日) 10:00~12:00	<ul style="list-style-type: none">■テーマ『ビジョンのとりまとめ・導入機能を検討してみよう』■ワークショップ(意見交換)の内容<ul style="list-style-type: none">・計画とりまとめ案の確認と追加意見の抽出(前回までの意見を踏まえた事務局計画案を確認)・導入機能を検討、優先順位をつける

4. 坂出緩衝緑地の課題

(1) 安全面・防犯面

- 木々が茂り、街灯も少ないため暗い印象を与えるとともに、防犯面での不安を近隣住民に与えている。
- 交通量の多いさぬき浜街道に隣接しているため、子どもを遊ばせる上で交通事故の不安がある。
- トイレなど緑地内の設備が老朽化している。また、バリアフリーに対応しているトイレが一カ所しかない。
- ベンチなどの設備が不足している。
- 隣接する街区公園の施設(音楽堂)などが老朽化している。



内部の様子



さぬき浜街道に隣接



老朽化したトイレ



隣接する街区公園の音楽堂

(2) 魅力・情報発信

- 暗い印象から利用者も少なく、訪れる目的となるものが不足している。
- 長大な敷地に対して広場の空間が少なく、活動の自由度にも欠けている。
- 坂出北ICのフルインター化に伴い、さぬき浜街道の交通量の増加が予想されるが、生い茂った木々によって遮られており、立ち寄ってみたいと思わせる魅力を十分に発信できる状況にない。
- PRや情報発信も不足している。
- 同じような景色の連続で、魅力が不足している。

(3) 交通アクセス

- 隣接する街区公園を含め、駐車場が不足しており、利用しづらい状況にある。
- 西大浜緑地(B地区)と東大浜緑地(C地区)は運河によって分断されており、現状では運河の周りを歩くか、両景橋を渡る必要があるため、東西の回遊性確保の障壁となっている。
- 案内サインや誘導サインが不足している。

5. 坂出緩衝緑地再整備に係る基本的な考え方

安全面・防犯面

魅力・情報発信

交通アクセス

豊かな自然環境と長大な空間をいかしながら、多様な世代が集い、交流する市民の活動拠点を創出する場

方針1 いつでも、誰でも安心・安全に利用できる緩衝緑地の再生

- 樹木の適切な配置による見通しの確保や街灯の設置によって防犯性を高めるとともに、災害時の活用やインクルーシブデザインの視点も含めた施設・空間整備を検討する。
- 子どもを安心して遊ばせることができるような安全対策をおこなう。
- 良好な維持管理を持続し、心地よく利用できる質の高い空間をつくる。

方針2 坂出市の玄関口となる魅力づくり

- 多様な世代が日常的に集い、交流する市民の活動拠点として、各種スポーツやアート・食・文化、新たな遊び・体験ができる場など市民の居場所づくりについて検討する。
- 坂出市の玄関口として持続的に利用者呼び込む仕掛けづくりと魅力発信をおこなう。
- 坂出市ならではの緩衝緑地再生のテーマやコンセプト、ネーミングを設けることにより、個性があふれ、来訪者に親しまれる緩衝緑地をめざす。
- 住宅地に近い中心市街地に位置する豊かな自然環境と長大な緩衝緑地の特性をいかして、季節感を感じながら過ごすことができる「みどり」の空間としての魅力を高める。
- 緩衝緑地全体のにぎわい創出・サービス向上のため、民間事業者の持つノウハウの活用について検討する。併せて、周辺の子育て支援施設や商業施設等との連携を図りながら緩衝緑地へ人の流れを生み出す。

方針3 つながり強化する

- 自家用車や自転車で安全にアクセスできる駐車場・駐輪場を設けるとともに、公共交通との連携を強化し、緩衝緑地全体の利便性を高め、新たな利用者呼び込む。
- 隣接する西運河入船エリアと連携し、坂出駅前エリアとつながる動線(中心軸)を強化し、坂出市の玄関口としての魅力を高める。
- 隣接する街区公園と一体的な整備により、それぞれの回遊性を向上させるとともにゆとり空間を創出する。
- 案内サインや誘導サインによりさぬき浜街道からの視認性を高め、人の流れを生み出す。

6. 再整備の方策

方針1 いつでも、誰でも安心・安全に利用できる緩衝緑地の再生

樹木の適切な配置

樹木の適切な配置により、良好な見通しと安全性を確保するとともに、良質なみどり環境を創出する。また、樹木の再利用を検討する。

基本的な機能の強化・再整備

老朽化が進んでいるトイレや手洗い場、街区公園の遊具などは再整備を行うと同時にインクルーシブデザインの視点も含めた施設・空間整備を検討する。

防災設備の設置

有事の際の物資拠点や避難場所としての活用を視野に入れた防災設備の設置を検討する。

方針2 坂出市の玄関口となる魅力づくり

ゆとり空間の配置

隣接する街区公園と一体的な整備を行い、各種スポーツやアウトドア活動、健康増進など多様なニーズに対応するゆとり空間の配置を検討する。

利用者の来訪目的となる機能の充実

飲食施設などの休憩スペース、年齢に応じた遊具のある子どもの遊び場、落ち着いてアートや文化を楽しむ空間など、緩衝緑地への来訪目的となるような施設・空間を整備し、にぎわい創出を図る。

坂出らしい個性あるテーマ設定

坂出市を舞台としたアニメや特産品(坂出三金時)、ゆるキャラ、緩衝緑地や西運河入船工エリアの歴史的背景などを活用し、坂出の魅力を発信する場とする。

民間活力の活用検討

多様化する利用者ニーズに応じ、緩衝緑地全体の魅力向上を図るため、民間活力や周辺の地域資源の活用を検討する。

方針3 つながり強化する

回遊性の高い散策路の整備

東西(東大浜緑地・西大浜緑地・西運河入船工エリア)と南北(坂出緩衝緑地とJR坂出駅)の動線を、歩行環境の改善、案内サインの設置などにより歩いて移動し、楽しむことが出来るよう整備する。散策路沿いには、回遊の楽しみを演出するポケット空間となる魅力スポットの配置を検討する。

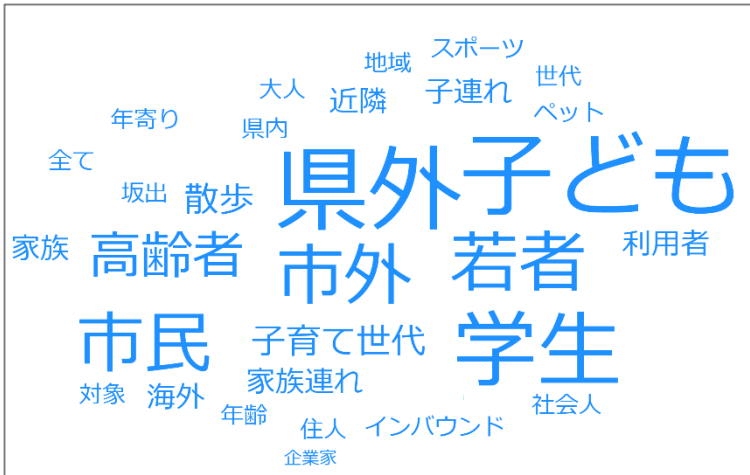
アクセス性の向上

主にさぬき浜街道から新たな利用者呼び込むため、駐車場や駐輪場を配置し、循環バスなどの公共交通との連携を図る。

7. ターゲットと必要な機能の整理

ワークショップに参加された皆様からいただいた意見を参考に、ターゲットと必要な機能について整理した。

ターゲット



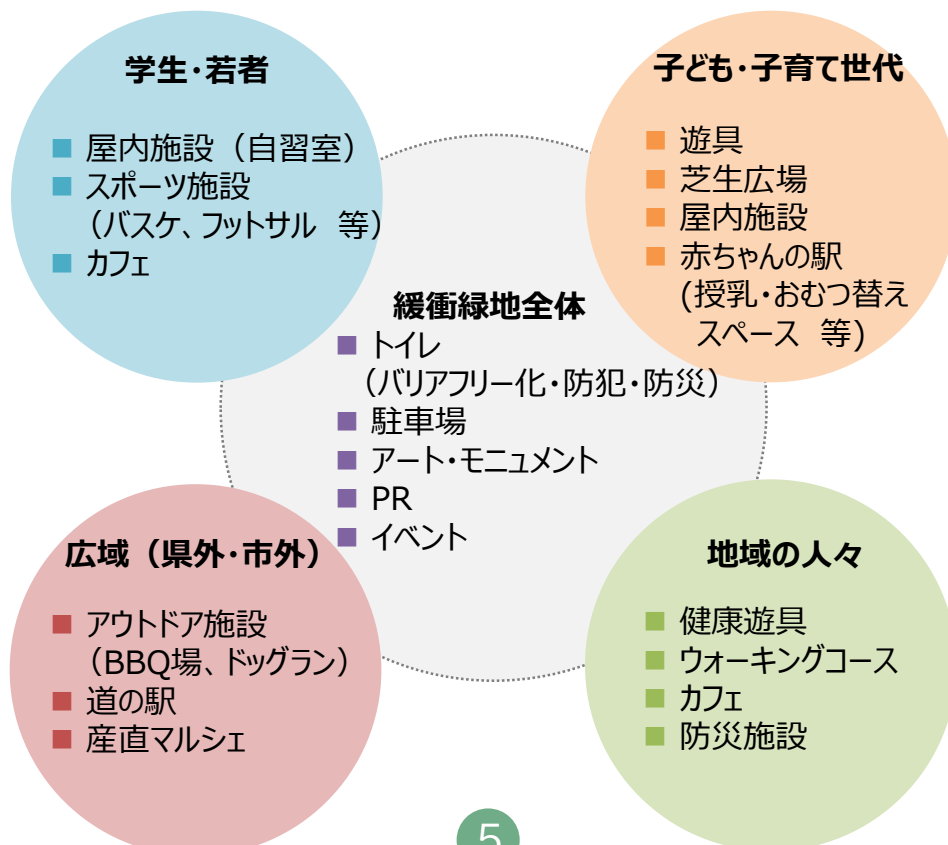
- 広域(県外、市外)
坂出北ICのフルインター化に伴い、交流人口の増加が予想されるため、県外、市外の人々をターゲットとする。
- 学生・若者
市内にある4つの高校をはじめ、複数の小中学校があることから、学生・若者をターゲットとする。
- 子ども・子育て世代
中心市街地において、子どもを安心して遊ばせることができる空間が求められていることから、子ども・子育て世代をターゲットとする。
- 地域の人々
住宅地に近い中心市街地に位置することから、日常的な利用者である地域の人々をターゲットとする。

※出現頻度が高い単語ほど文字のサイズが大きくなります
※ユーザーローカルAIテキストマイニングによる分析
(<https://textmining.userlocal.jp/>)

必要な機能

4つのターゲット層向けに、“必要な機能”を整理した。

その他にも「坂出市を舞台とするアニメの聖地化」や「新たなネーミングの設定」などの意見が出ており、緩衝緑地全体の再整備に係るテーマ設定を行う必要があると考えられる。



8. 緩衝緑地活用のイメージ

	学生・若者	子ども・子育て世代	地域の人々	広域(市外・県外)
アート・文化 空間	文化活動を行う 	アート作品の展示 		もりの美術館 
				※市HPより

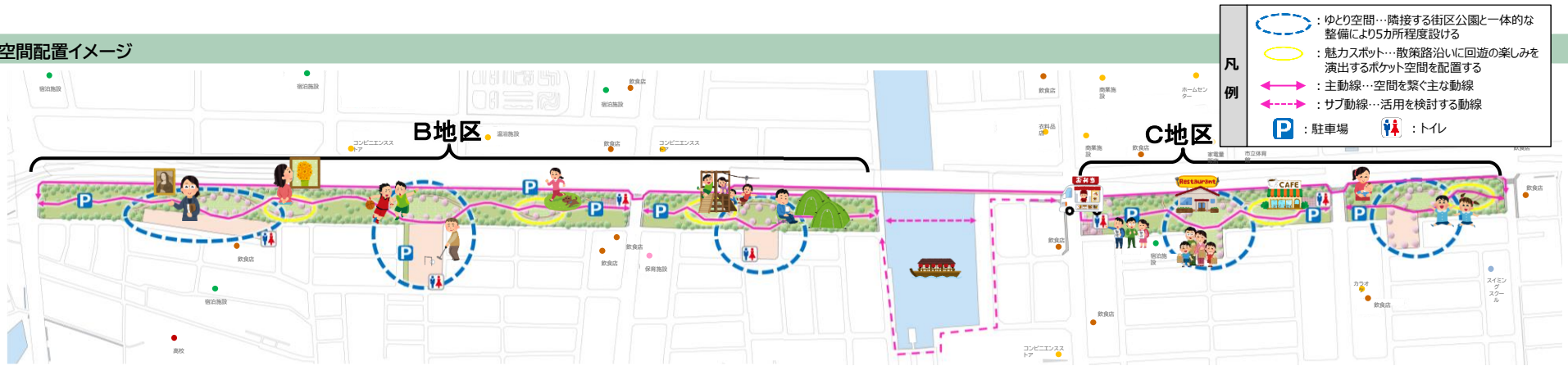
	学生・若者	子ども・子育て世代	地域の人々	広域(市外・県外)
スポーツ・ アクティブ空間	多様な世代のスポーツ・運動 	犬の散歩やウォーキング・ジョギング 		自由に体を動かす 

	学生・若者	子ども・子育て世代	地域の人々	広域(市外・県外)
アウトドア 空間	友人・家族と団らん 	自然と触れ合う空間 		ペットと楽しむ 

	学生・若者	子ども・子育て世代	地域の人々	広域(市外・県外)
賑わい拠点 空間	カフェ等の飲食店 	産直・マルシェなどの商業機能 		イベントの開催拠点とする 

	学生・若者	子ども・子育て世代	地域の人々(高齢者・市民)	広域(市外・県外)
キッズ空間	遊具や広場での遊び 	年齢に応じた遊び場の提供 		授乳やオムツ替えをする 

9. 空間配置イメージ



	アート・文化空間	スポーツ・アクティブ空間	アウトドア空間	賑わい拠点空間	キッズ空間
イメージ					
方向性	坂出らしいアートや文化を楽しむことができる空間	多様な世代の市民がスポーツや運動を楽しむことができる空間	自然と触れ合うことで、非日常的な余暇活動を楽しむことができる空間	坂出緩衝緑地の玄関口として賑わいの拠点となるシンボリックな空間	子どもを安心して遊ばせることができる主に幼児～児童向けエリア
配置の考え方	B地区 豊かな自然環境と長大な空間をいかし、回遊するアート空間を検討する	B地区 既設の街区公園を一体的に活用することでスポーツ施設に必要な敷地確保ができる	B地区 既存の木々や緑と近接する水辺(運河)空間をいかす	C地区 既設のまるっこパークとの連携や坂出駅との動線に近い	C地区 賑わい空間と一体的に検討することで、ファミリー層が利用しやすい
求められる機能	<ul style="list-style-type: none"> ●瀬戸内国際芸術祭との連携 ●郷土の芸術家の作品展示 ●アニメなど坂出市にゆかりのあるものの聖地化 	<ul style="list-style-type: none"> ●常時スポーツができる空間 ●需要があり使われるスポーツ施設 ●誰でも使える複合的な施設 ●団塊世代がスポーツできる空間 	<ul style="list-style-type: none"> ●親子やペットを連れて楽しめる空間 ●気軽にアウトドア活動ができる空間 	<ul style="list-style-type: none"> ●産直・マルシェなどの商業施設 ●飲食店(カフェなど) ●周辺の店舗との連携 	<ul style="list-style-type: none"> ●幼児向け遊具 ●赤ちゃんの駅 ●安全対策(防護柵・ラバー) ●音楽堂の対策(再整備・撤去) ●屋内施設(遊具・飲食スペース)
想定される施設・設備	<ul style="list-style-type: none"> ・もりの美術館 ・アート作品 ・音楽が流れる空間 ・アートを兼ねたベンチ ・高校生の作品展示 ・触って遊べるモニュメント ・もりの図書館 ・坂出今昔展 ・銅像巡り ・創作イベント ・自習室 ・カフェ ・休憩室 	<ul style="list-style-type: none"> ・バスケットコート ・フットサルコート ・アスレチック ・レンタル公園 ・バタンクコート ・ゲートボール場 ・プール ・スケボーパーク ・パークゴルフ場 ・ランニングステーション ・健康遊具 ・インクルーシブ遊具 ・芝生広場 ・屋根付き広場 ・スポーツメーカーとのタイアップ ・ボール遊びできる広場 ・アスレチック ・ひみつ基地 ・スポーツ用品のレンタル ・運べる遊具 	<ul style="list-style-type: none"> ・キャンプ場 ・BBQ場 ・オープンキッチン ・ドッグラン ・アスレチック ・菜園 ・エディブルガーデン ・ベジトラグ ・釣り堀 ・RVパーク(車中泊施設) ・サウナ ・アスレチック小屋 ・坂出で獲れた魚を売る施設 ・デイキャンプ場 ・外が見える屋内空間 ・アウトドアメーカーによるプロデュース 	<ul style="list-style-type: none"> ・広場 ・テラス ・モニュメント ・拠点施設 ・カフェ ・自習室 ・休憩室 ・道の駅 ・市民講座 ・図書館 ・レストラン ・うどん屋 ・ハンバーガーショップ ・屋内遊具 ・子育て支援施設 ・赤ちゃんの駅 ・商業施設 ・キッズスペース ・シンボルの建物 ・店舗 ・噴水 ・チャレンジショップ ・アニメの再現 	<ul style="list-style-type: none"> ・インクルーシブ遊具 ・芝生広場 ・水遊びできる噴水 ・ドーム広場 ・ボールで遊べる公園 ・年齢に応じた遊具 ・着替えやシャワーが出来る場所 ・遊べるモニュメント

※写真の施設、空間等はイメージであり、決定した事業計画ではない。